

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

Albirex-RT

CAR No.34

2014/11/1

CAR No.35

MOTOR FREAK

スーパーFJ 富士シリーズ 第 5 戦

Beyond

草野貴哉

長谷川綾哉

アルビモーターフリーク GIA

アルビ開志高校ビヨンド EDKK-SED

CAR No.36

CAR No.37

M.I.D Japan Inc.
Mitsui Impress Development

MAKE WINNER

神村悠太

大久保一成

アルビ RT 玉三郎 M's 岩本 10V

アルビメーカーウィナー-K-WindsED

11月1日(土) 予選・決勝 富士スピードウェイ 1LAP=4.563km 出走：14台

予選結果：大久保選手 3位 長谷川選手 4位 神村選手 8位 草野選手 7位

決勝結果：大久保選手優勝 長谷川選手 3位表彰台 神村選手 4位入賞 草野選手 6位入賞

**大久保選手優勝、長谷川選手3位でダブル表彰台獲得！
神村選手、草野選手も入賞し全車入賞を達成！**



■11月1日(土) 9時45分予選スタート

天候：曇　　コース：セミウェット　　気温：17℃　湿度：73%　路温：15℃

日本一決定戦を除く今シーズン最後のシリーズ戦。セミウェットの難しい路面コンディションの中、大久保選手が今季自己最高の3番グリッドを獲得。長谷川選手が4番手に続き、決勝が期待される。草野選手も自己最高の7番グリッドを獲得する一方、神村選手は波に乗れず8番手に留まる。ポールポジションはシリーズランキングポイントリーダーの今井選手、2番手には Takashi 選手が続いた。

■11月1日(土) 14時48分決勝スタート

天候：雨　　コース：ウェット　　気温：17℃　湿度：77%　路温：17℃

3番手スタートの大久保選手は上位2台とともに好スタートを決め、ポールの今井選手、2番手 Takashi 選手、大久保選手が早くも先頭集団を形成して2コーナーへと駆け抜けてゆく。大久保選手は3番手ながらペースは速く、2番手を走る Takashi 選手に再三プレッシャーをかけながらコカ・コーラコーナー～ダンロップコーナーへ。ここでの進入でも激しいプレッシャーをかけるがパスには至らない。しかし、その後の13コーナーで外からオーバーテイク。2番手に浮上すると、そのままトップを狙いに行き、ホームストレートで水しぶきをあげながら1位今井選手の後ろにピッタリついて2周目の1コーナーへ。しかし、ここはパスできずに次のチャンスを伺う。

勢いの勝る大久保選手は今井選手を射程圏に捉えたままアドバンコーナーへ。ここで大久保選手は外から仕掛ける。大外から進入して今井選手の横に並ぶと、立ち上がりで完全に前に立ち見事1位を奪取する。その後は後続を引き離し、トップに立った2周目終了時点で早くも2番手今井選手に約2.5秒差をつけトップを快走。そのままトップでチェッカーを受け、自身初優勝を達成した。ポールの今井選手とのバトルを制した Takashi 選手が2位で続いた。

4番手スタートから初の表彰台を狙う長谷川選手だったが、スタートを失敗。エンジンストールしかけてしまい、ストールこそしなかったものの12番手付近まで順位を落としてしまい、大きく出遅れてしまう。しかし、ここから長谷川選手が凄まじい追い上げを見せる。次々と前車をパスしていき、オープニングラップのプリウスコーナーで8番手にまでポジションを回復する。続く2周目の2コーナーで7位に上がると、ダンロップコーナー進入で神村選手の前に出て6位、さらにプリウスコーナーで5位に浮上する。

3周目、今度は4番手車両を捉えると、ダンロップコーナーで前車がややオーバーラン。労せずして4位に浮上する。そして5周目について前を走る今井選手をパスして3位に浮上する。その後は大きく開いた2番手 Takashi 選手を逆転するまでには至らなかったもの

の、参戦1年目にして自身初の表彰台を獲得した。

神村選手はオープニングラップを6位で終わると、長谷川選手にかわされ順位を落としながらも、少しずつ順位を上げていき、レース終盤には今井選手とのバトルを制して4位に浮上、入賞を果たした。

草野選手はオープニングラップで10位まで後退してしまうが、1台ずつかわしていき着実に順位を上げていく。7位まで順位を取り戻していくと、10周目にはシリーズランキング2位の赤堀選手をパスして6位浮上、その後は赤堀選手に4秒差をつけてチェッカーとなり、自身初の入賞。アルビレックス・レーシング・チームは出場ドライバー全員が入賞を果たした。

○草野選手コメント

今シーズン予選、決勝ともにベストリザルトでシーズンを終えることができました。予選の流れはつかめてきましたが、決勝中のレースの運び方はまだまだ力不足だと思いました。1年間、応援とサポートをしていただきありがとうございました。

○長谷川選手コメント

今シーズン最後のレースでやっと表彰台に立てました。次は頂点を目指していきたいと思います。チームの皆さん、1年間サポートして頂きありがとうございました。また、応援して頂いた皆さん、ありがとうございました。

○神村選手コメント

今日はペースが上がらず苦しいレースになりました。今年は優勝することができましたが、念願のシリーズチャンピオン獲得ができず悔しいシーズンになりました。日本一決定戦では自分の持てる力を出し切りたいです。最後に、改めてチームの皆さん、サポートして頂いた皆さんに感謝したいと思います。1年間ありがとうございました。

○大久保選手コメント

最終戦で優勝できて本当に嬉しいです。今年はなかなか歯車が噛み合わないことがありましたが、最後に表彰台の真ん中に立ててよかったです。これでシリーズは終わりますが、チームの皆さんには今年1年サポートして頂き本当にありがとうございました。

○中村監督コメント

いよいよ 2014 シーズン各シリーズの最終戦となりました。

神村選手は金曜のフリーは良かったものの、予選、決勝と歯車がかみ合いませんでした。が、シリーズ 2 位を獲得できたことは次年度につながると思います。ベテランの域に入ってきましたが来年度はシリーズチャンピオンの最有力候補になりました。

大久保選手については、今回は最終戦ということもあり、守りには入らず、過去の失敗を繰り返さない運転で精神的な上達が見られました。今まで速さはあったものの、取りこぼしの多い選手でしたが、今回は悪い面は全く出ず優勝を勝ち取る事ができました。来年はまだ決まっておりませんが、更なる高みを狙ってほしいです。

長谷川選手は前回の F1 日本グランプリサポートレースでの走行から自分なりに何かを見つけた様子で終始速さが見られました。今年度はかなり苦しみました但し今回は他の選手より異次元な走りを見せてくれました。来年が期待できる選手となりました。

草野選手は今回、非常に技術が伸びた一人です。チーム内競争にも参加できる速さが出てきました。最終ラップではランキング上位の選手もオーバーテイクでき、今後に期待が持てます。

総じて、昨年のチャンピオンチームとして連続チャンピオンを目指しましたが、ランキング 2 位で終了しました。が、新しい選手も排出でき、2 名の優勝者も出すことが出来た事は、全体的にレベルが上がったと思います。また、最終戦は全員が入賞でき来年度に繋がる大変意義のある週末となりました。

残りは日本一決定戦となりますが全力で頑張ります。今後とも宜しくお願いいたします。





P PLUS  Nankai Plus.Co.,LTD.

鈴木会計
埼玉・川口
<http://www.tkcnf.com/sds>



Moty's
WITH LOGICANT TECHNOLOGY

新潟日報

たわら屋

AUTO INIIGATA SYSTEM

SPN SPEED PARK NIGATA

- ・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO ・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター
- ・ 東栄ボディー ・ Car Factory 雅美 ・ 堀モータース ・ みがき屋エンマ
- ・ Power Station ・ カイツ自動車 ・ トップオート ・ エムズ ・ 関根車体